

消費生活センターだより

～いま高齢者が狙われている！～ 事例から見る傾向と対策

<事例> 「次から次へと勧められる」 ～次々販売～

布団の無料点検に来た業者から、「この布団は湿気が多い」と指摘された。業者が持ってきた布団は、「干す必要がない」と勧められ、布団セットを契約した。更に2か月後に肌掛け布団を勧められ契約。また1年後に業者がやってきて、「初回に契約した布団は湿気が多い」と強引に言われ、新たに布団セットを契約させられた。

<アドバイス>

高齢者の被害を未然に防ぐには、同居家族はもちろん近隣にお住いの方が、高齢者世帯やひとり暮らしの高齢者へ声をかけるなど、地域の方々の気配り、心配りが大切です。

1. 日ごろから家族などが暮らしの変化(普段見慣れないものが必要以上にあるなど)に注意しましょう。特に、認知症などの症状がみられる場合は、成年後見制度の利用も考えてみるのもよいでしょう。
2. 「次々販売」の業者は、言葉巧みに近づいて、消費者が一度契約すると、必要のない商品やサービスを次々と販売して過剰な量を契約させます。複数の業者が入り替わり次々と販売するケースもあるので注意しましょう。

城里町消費生活センター(コミュニティセンター城里2階 産業振興課内)
 開設日 毎週 月・水・金曜日 午前9時～午後4時
 電話 029-288-3111 (内線385)
 専門の相談員が、皆様のご相談に応じます。お気軽にご相談ください。

俳句

走馬灯とり戻したき過ぎし日々
 今瀬多代美
 釣忍投げ餌に揃ふ鯉の口
 鯉淵寿美恵
 葉に当る雨粒の増え花擬宝珠
 仲田まちゑ
 ミニトマト採り緑陰にひと休み
 いそべきよ
 雨上り蝶の群れるる土甘し
 飯田 勇一

文芸しるさと

短歌

朝夕に聞くうぐひすの声澄みて
 わがたましいの安らぎゆけり
 所 美恵子
 乗鞍岳に登りし記念の湯飲み
 にて思ひあらたに喉を潤す
 杉山みちこ
 水無月の朝さやかに明けわた
 りヴァージンロードを夫と娘
 が歩む 大森 久子
 屋根覆ふブルーシートをはず
 しゆく瓦職人の若さたくまし
 青柳 京子
 庭土を淡き黄に染めてほろほろ
 と柿の花散る梅雨のひと日を
 渡辺千紗子

湿原を巡る木の橋沢桔梗
 森 静江

梅すべて落とし梅の木淋しさう
 高橋 芦江
 山百合の香るふるさと平和なり
 飯村 昭子
 百日紅写真の父は帽子好き
 竹内 幸子
 寺の庭水音までも涼しかり
 一杉 常子
 省エネや団扇納戸にあったはず
 寺門 孝子
 秋陽返して弁天堂の輝けり
 瀬谷 博子

川柳

ほろるの湯玄閣左右燕の巢
 岩下 金司
 霧ヶ峰揺らす群生黄管かな
 田口 勝元
 山裾を流れる川に長い棹
 青木新三郎
 月の山出羽三山の山の味
 市川 義子
 節電で支持率上げるうちわかな
 富田 多蔵
 草刈りと見廻りみてる稲穂かな
 飯村 孝一

ふりむけば吾を呼ぶ女孫は夏
 風のひかりのなかに笑みて立
 ちおり 山形 式妙
 竹竿にからまりのぼる朝顔の
 桃色の花二つ三つ咲く
 鶴田 すが
 生前は呑むな呑むなと強く言
 う酒を供えて父に語らう
 菌部 光子
 子供等が祝われる喜寿の年迎え
 亡き夫の顔しみじみと見る
 富田 欽子
 青葉ゆらし見えがくれしつ落
 つる滝にうつつ忘れてしばし
 佇ちいる 枝 不美
 四肢麻痺の媪と語り合ひにつつ
 いつか己が身を重ねみてをり
 片見 和枝

枝ごとに夾竹桃の赤い花競ふ
 がに咲き風にゆれいる
 川上千代子
 出征く兄を見送りし駅舎今は
 失せ真夏の道路は黙して白し
 島 愛子
 「日展」の「少年」なる絵にたち
 すくむ大志がひそむあなおそ
 ろしき 多田志保子
 久々に雨の降り来て涼しけり
 吾が老いの身も暑さに耐えて
 坪井きよ子
 子も孫も先祖の霊も集い来て
 迎うる盆会の賑わい嬉し
 萩谷登喜子
 魂を込めて闘う球児らの熱戦
 を被災者に届けと祈る
 富田佐智子